



2021年7月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 あ さ く ま  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 横 田 優  
(JASDAQ・コード 7678)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 西 尾 す み 子  
電 話 番 号 052-800-7781(代表)

### 子会社の破産手続開始の申し立て及び債権の取立不能のおそれに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社竹若が、東京地方裁判所に破産手続開始の申し立てを行うことを決議し、これに伴い同社に対する債権について取立不能となるおそれが生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

#### 1. 株式会社竹若の概要

(1) 名 称	株式会社竹若
(2) 所 在 地	東京都中央区築地四丁目7番5号
(3) 代 表 者 の 氏 名	代表取締役 諏訪部浩通
(4) 事 業 の 内 容	飲食業
(5) 資 本 金	50百万円
(6) 設 立 年 月 日	1988年2月17日
(7) 大株主及び持株比率	株式会社あさくま 100%
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係:上記(7)のとおり 人的関係:該当ありません 取引関係:資金の貸付、利息の受取 債権債務関係:貸付金810百万円、未収入金2百万円 関連当事者の該当状況:当社の連結子会社

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態		(単位: 百万円)		
決算期	2019年1月期	2020年1月期	2020年3月期	2021年3月期
純資産	250	△192	△362	△959
総資産	1,156	786	660	105
1株当たり純資産(円)	62,728	△48,117	△90,596	△239,883
売上高	2,273	2,146	214	477
営業利益又は営業損失(△)	7	△85	△76	△236
経常利益又は経常損失(△)	46	△167	△66	△196
当期純利益又は 当期純損失(△)	5	△442	△169	△597
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) (円)	1,385	△110,714	△42,478	△149,287
1株当たり配当金(円)	—	—	—	—

(注) 1. 2019年1月期、2020年1月期及び2020年3月期の数値は、監査法人による単体監査を受けたものではありません。

2. 2019年1月期及び2020年1月期の消費税等の会計処理は税込方式によっております。

## 2. 申し立てに至った経緯

当社の連結子会社株式会社竹若は、「ステーキとハンバーグ」に特化した品揃えの「あさくま」と「寿司と和食」に特化した品揃えの「竹若」の相乗効果により、お互いの持つ「商品開発力」を活かし、今までにない商品を「あさくま」と「竹若」の顧客に提案することにより、新たな「来店動機」と「利用動機」を生み、「新規顧客の囲い込み」と「客層の拡大」を図り、客数の底上げによる売上高の増加を見込んで、2020年2月28日当社グループに加わりました。

グループ化してすぐに当社の持つ経費削減スキームを株式会社竹若に導入し、損益分岐点売上高を下げる方策を取りました。また、2020年末には「あさくま」と「竹若」がコラボしたおせちを販売するなど、当初の目的を一部達成はしたものの、折からの外食不況の流れに逆らうことができず、当社が資金援助を行ってまいりましたが、想定していた収益を上げることが叶わず、3月末をもって全店舗休業に至りました。

その後、私的整理により経費を少なくし、債権者への配当額を少しでも多くする方法を模索しましたが、賛同を得られず、当社にとりまして、これ以上の資金援助は有益ではなく、裁判所による破産手続きが最も適切と判断し、破産手続開始の申し立てを行うことになりました。

なお、株式会社竹若の資産負債の確認作業中に、グループ化前の2016年11月時点の旧経営陣によるリース取引を悪用した資金調達が発覚しました。具体的には、同社がリースを受けた店舗設備等に対し複数のリース契約を行う、いわゆる多重リースが2件ありました。本件につき、当社の業績への影響はないものと考えておりますが、今後開示すべき事項が生じましたら速やかにお知らせいたします。

株主及び関係者の皆様へ多大なご迷惑をお掛けすることとなり、大変恐縮ではありますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 3. 申立者の概要

(1)名称	株式会社竹若
(2)所在地	東京都中央区築地四丁目7番5号
(3)代表者の氏名	代表取締役 諏訪部浩通

### 4. 申し立ての内容

株式会社竹若の代表取締役 諏訪部浩通が竹若の破産手続開始の申し立てを東京地方裁判所に行うこととなりました。

### 5. 負債総額

997百万円

### 6. 当該子会社の株式の評価額

当社は、2021年3月期において株式会社竹若の株式評価損を計上しており、同社株式の評価額は1円です。

### 7. 業績に与える影響

当社は、2021年3月期において株式会社竹若に対する期末貸付債権の全額810百万円について貸倒引当金を計上しており、当社の2022年3月期の個別業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。また、2022年3月期の連結業績に与える影響は、2021年6月24日に公表した2022年3月期の業績予想に織り込んでおりますが、業績予想の修正等が必要であることが判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上